# 自然体験・食育体験活動を通じた地域コミュニティづくりの促進

**お山のおうちえん**

## 活動の目的

地域の方々が長年の暮らしの中で体得してきた知恵や技術を、体験活動を通して子ども達が地域の方々から学ぶ。

活動全体を通して、子どもたちが地域の多様な人と出逢い、つながり、その生き方から学ぶ。それが地域の中での人のつながりを大切にしたコミュニティづくりにつながることを目的とする。

## 活動の内容及び経過

主に３歳～５歳の預かり保育施設「お山のおうちえん幼稚部」の中で、年度始めに、年間を通して地域の経験豊富な方を講師としてお招きして、子どもたちが暮らしに関する学びを得る体験イベント「ぼっけぇ DAY」として計画した。

衣食住の暮らしに根ざした内容を中心に、「お山のおうちえん」がある美作市上山地区の中で講師を探し、各体験活動の趣旨を話し、事前の打ち合わせを経て、「ぼっけぇ DAY」を実施（４回）してきた。

4月：「野草教室」。園の敷地内に生えている野草について、講師の方よりお話をしてもらった。普段何気なくある野草もそのほとんどが食べられることが分かり、実際に講師の方に調理して頂き、お昼の給食でみんなで食べた。子どもたちにとっては、身の回りに食べられる野草がたくさんあることや、どんな野草が食べられない（毒がある）かについて、実践的に学ぶことが出来た。

7月：「手打ちうどん作り体験」。自分たちで種まき～収穫した小麦を食材に、手や足を使ってうどんを打ち、みんなで頂いた。長年うどん屋を経営した講師の男性の方が、子ども達にうどんの生地を伸ばし、麺にしていく過程を見せてくれた。見事な腕前を前にして、子ども達はじっと見ていた。

8月：「藍染め体験」。苗から育てていた藍の葉を使って、「生葉染め」を体験した。家から持ってきた服やタオルを豆乳に浸して下処理してから、染料につけると鮮やかな蒼色に染まった。子ども達にとっては、普段衣服は買ってくるものという意識が強かったと思うが、体験を通して、例えあまり着なくなった服でも染めることで、自分の生活に色どりを添えられることが分かった。

12月：「しめ縄づくり体験」。秋の稲刈りの際にとっておいた稲藁をつかって、しめ縄づくりを体験した。「小さい時から時間があれば家で縄を綯っていた」という講師の方の手のひらからは、次々にきれいな縄がでてくる様を子ども達は驚いた表情で見ていた。しめ縄をつくることは幼児には少し難しい活動ではあったが、新年のお正月に向けた農村での暮らしの1コマを体験できたことは、農村部に園がある子ども達にとっては貴重な体験となった。

みんなで「手打ちうどん体験」

きれいに染まったよ（藍の生場染め体験）

## 活動の成果・効果

各回の講師の方々が体験活動を通して、幼児との触れ合いを喜んで下さり、毎回充実した内容の活動となった。活動を通して、地域の方々とのつながりが生まれ、地域のコミュニティづくりを促進できた。

野草を摘んできておままごとで使ったり、藁で人形をつくってみたりと、「ぼっけぇ DAY」の体験活動で学んだことが、その後の子どもたちの普段の遊びの中にも活かされており、子どもたちの遊びや価値観が多様化している姿が見られた。

各体験活動当日には、園児だけでなく、その保護者も参加し、一緒に体験活動を楽しんだ。子ども達だけでなく、保護者にとっても、農村での暮らしの知恵・技術を学べる時間となった。

## 今後の課題と問題点

コロナ禍で、人が集った体験活動を実施していくことが難しい状況となってしまい、計画通りに実施できなかった体験活動もあった。

●代表者：田原洋平　●所在地：美作市上山
●TEL：090-5652-5980　●E-MAIL：oyamanoouchien@gmail.com
●URL：https://facebook.com/oyamanoouchien2019/
●設立年：2019年　●メンバー数：8名